

教育委員会だより

第4号
2016.11.1

私たちの大切な宝である子どもたちが、夢や希望を持ち、持続可能な社会づくりの担い手となるよう、教育委員会や各学校はさまざまな取り組みを行っています。

その「今」を紹介していきます。



～ 教育委員からのメッセージ 本山清美委員 ～

本市の教育と子どもたちに寄せる思いを、4人の教育委員の皆さんにリレー形式で語っていただきます。今回は本山清美委員です。



こんにちは、教育委員の本山です。私は、大牟田市の特色ある学びの中から「子ども大牟田検定」を紹介します。

「子ども大牟田検定」は、郷土である大牟田の良さを学ぶために、23年度から年2回、小学校3年生から中学校3年生までを対象に実施しています。26年度からは《上級編》の検定も加わりました。「子ども大牟田検定ガイドブック」(大人にも興味深い内容が書かれています)を参考に、自然や文化などの「大牟田の宝もの」についての問題にチャレンジします。

検定を通して、子どもたちは大牟田の良さを多面的に捉えることができ、郷土を誇りに思う心が育っていくのではないのでしょうか。それは同時に、子どもたちの心の支えとして根付くことでしょう。

今、子どもたちは、主体的に学び行動する学習を深めています。未来をつくる子どもたちに、これから皆様のご支援をよろしく願います。

日本初

「ユネスコスクールの日」を制定

このたび教育委員会では、ユネスコスクールの活動を推進するとともに、市民の皆さんに学校教育への関心を高めてもらうため、毎年1月17日を「大牟田市ユネスコスクールの日」と決めました。

●ユネスコスクールのまちおおむた

ユネスコスクールとは、ユネスコ憲章の目的を実現するために、平和や国際的な連携を実践する学校のことです。

全ての大牟田市立学校は、24年1月17日をもって、ユネスコスクールに一齐に加盟しました。このようなことは世界的にも珍しく、本市は、国内のユネスコ関係者から「ユネスコスクールのまち おおむた」と呼ばれています。各市立学校は、ユネスコスクールとしてESD(持続可能な開発のための教育)を推進している、本市の教育の大きな特色となっています。

そこで、ユネスコスクールへの加盟を記念して、日本初となる「ユネスコスクールの日」を定めました。また、本市は来年3月に市制100周年を迎えることから、これをお祝いするとともに、制定記念式典下記のとおり開催します。

「大牟田市ユネスコスクールの日」制定記念式典

～未来志向の子どもをはぐくむ これからの100年を見すえて～

- 日 時 29年1月14日(土) 午後0時30分から
- 会 場 文化会館 大ホール
- 内 容 ①制定記念式典
②学校教育功労者表彰式
③ユネスコスクール子どもサミット
④記念講演会

入場は無料です。多くの皆さんの参加を待っています。

英語の実践力の向上を目指して

本市がこれまで進めてきた英語教育の成果と、国が掲げる英語力の目標を踏まえ、今年度から新たに、児童生徒の英語の実践力の向上を目指し、「大牟田英語教育ステップアップ事業」を実施しています。

●全国に先駆けた取り組み

本市では、平成12年度から、全国に先駆けて全小中学校の全学年で、学級担任が中心となって英語の指導を行ってきました。

また、小・中学校へALT（外国語指導助手）やLGT（外国人講師）を派遣して、児童生徒が英語に親しみ、コミュニケーション能力の基礎を身に付けることができるよう取り組んできました。



米生中学校（モデル校）での「イングリッシュ・セミナー」

●意欲的に取り組む英語教育

今後は、児童生徒が英語を「聞く・話す・読む・書く」能力を伸ばし、コミュニケーションの実践力を身に付けられるようにすることが大切です。そこで、大牟田英語教育ステップアップ事業では、次のような取り組みを進めています。

○全小中学校での「イングリッシュ・サマースクール」（英語を「読む・書く」の学習）

○小学校モデル校での外国の学校との交流

○中学校モデル校での「イングリッシュ・セミナー」（英語で大牟田の宝などを説明できる生徒の育成）

○小学6年生は5級、中学3年生は3級の英検受検料の一部補助

中でも、小学6年生への英検5級受検料の補助は、全国的にも大変珍しい取り組みです。

これからも、児童生徒が「もっと英語を話したい」という意欲を高め、将来、グローバルに活躍できるような学習環境づくりを進めていきます。

学校の特色あるESDの取り組み～大正小学校

今回は、世界遺産学習をESDのテーマとしている学校の中から、大正小学校の取り組みを紹介します。

●大正小学校のESD

大正小学校では、世界遺産の美しいまちづくりを目指してESDを推進し、地域を愛する心を持つ児童を育んでいます。

【大牟田の歴史遺産を未来に】

昨年の6年生は、「大牟田の歴史遺産を未来に伝えよう」をテーマに取り組みしました。世界遺産の価値について学んだ子どもたちは、世界遺産登録の号外新聞を作成して大牟田駅前で配布し、多くの人たちと喜びを分かち合いました。



世界遺産登録の号外新聞の配布

10月の修学旅行では、長崎市立大浦小学校を訪問し、世界遺産学習の交流会を行って地域の宝を紹介し合い、つながりを深めることができました。

さらに、「大牟田のために自分たちができること」を考え、大牟田駅周辺の清掃や、大牟田にきた人をきれいな花で迎えようと、駅前に花の苗を植える活動を行いました。

【取り組みの成果】

世界遺産登録の喜びを発信したことや、大浦小学校との交流を通して、子どもたちが大牟田の良さに気付くとともに、ESDが目指す「自ら考え行動する」ことにつながりました。

ESDとは…Education for Sustainable Developmentの略で、地球規模の課題について、身近な問題を通して子どもたちなりに考え行動するための学習です。本市では、全市立学校でESDに取り組んでいます。

■問合せ 教育委員会事務局総務課
教育みらい創造室（☎412867）